



■みらいフェスタの成功に向け、企画を練る打ち合わせ。メンバーそれぞれが仕事を持っているため、開催はほとんど夜間だ。3月から何度も回数を重ね、企画を具体的な形にしていく。

「来場してくれた人が楽しんでくれたら、
それだけで僕らはうれしいんです」



「日常の体験を提供したい」との
思いから。
佐藤さん自身、夏休みの思い
出と言えば、当時の「伊奈祭り」
だったといいます。「楽しかつ
た思い出ってずっと残るじやな
いですか。それが地元への愛着
につながっていくんだと思うん
です」。

打ち合わせを重ねながら企画を
練っていきます。青年部の皆さ
んは、本業のかたわら、それぞ
れの担当する部門で、手分けし
て動いています。すべてはお祭
りの成功のために。
「たくさんの方が来場してくれ
て、楽しんでくれたら、それだ
けで僕らは嬉しいんです」と笑
顔で話してくれました。

スタとは「つながり、絆」だと
話します。
「一つの目標に向かって共に走
るので、青年部の部員同士の結
束が強まります。そして、支え
てくれる地元事業者の皆さんと
のつながり。来場してくれた皆
さんとのつながり」。そういつ
たすべての「つながり」が絆に
なって、みらいフェスタが成功
するのだ、と。



みらいフェスタに いこう！

8/3 (sat) 午後1時30分～
総合運動公園

夏 といえば、みらいフェスタ！市商工会青年部が
主催するつくばみらいの夏祭りです。
真夏の太陽の下、会場には特設ステージが出現。お
笑いライブなどの熱いパフォーマンスが繰り広げられます。
今回の特集では、「みらいフェスタ」を主催する市商工
会青年部を紹介します。

「子どもたちに非日常の体験を届けたい」

今年のみらいフェスタ実行委
員長を務めるのは、佐藤武志さ
ん。市内高岡で、運送会社を経
営しています。自身も仕事で多
忙を極める中、その合間を縫い
ながらみらいフェスタの成功に
向けて奔走しています。
「正直、大変なこともあります」
と苦笑しながらも走り続ける。
その原動力は「子どもたちに非



みらいフェスタ 2019 実行委員長／サトー運輸
さとう たけし
佐藤 武志 さん